

問い合わせ先

第七管区海上保安本部

海洋情報部海洋調査課長 今木

093-321-2931 (内線 2530)



第七管区海上保安本部

平成27年9月25日

津波防災情報を発信！

～ 七管区初、津波防災情報図をweb公開 ～

海上保安庁では、船舶を津波の被害から守るため、南海トラフ巨大地震の断層モデルを用いて津波シミュレーションを実施し、津波防災情報図を整備してきました。

今般、ユーザーが広く、使いやすく、容易に、この津波防災情報を閲覧できる環境が、第七管区海上保安本部として初めて整いました。

本日より、豊後水道～周防灘にかかる大分県、福岡県及び山口県の沿岸部港湾の津波防災情報図をwebサイト(本庁海洋情報部webサイトへリンク)から見ることができ、今後、ユーザー自身による情報の積極的な活用が期待されます。



< http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAIYO/tsunami/kyushu_n.html >

なお、webサイトへの公開に伴い、主なユーザーである港湾、海運、漁業、マリナー関係団体及び自治体等の海事関係者を対象に、津波防災情報図の活用方法などの説明会を下記日程により、大分及び門司地域において実施します。

大分地域

日時：10月6日(火) 1330～1430

場所：大分県トラック会館 5F 会議室

門司地域

日時：10月30日(金) 1330～1430

場所：門司港湾合同庁舎 1F 会議室

【取材申込み】

上記説明会において取材申込みを希望される方は、門司地域については、第七管区海上保安本部海洋情報部海洋調査課、大分地域については、大分海上保安部交通課の各々下記担当へ連絡願います。

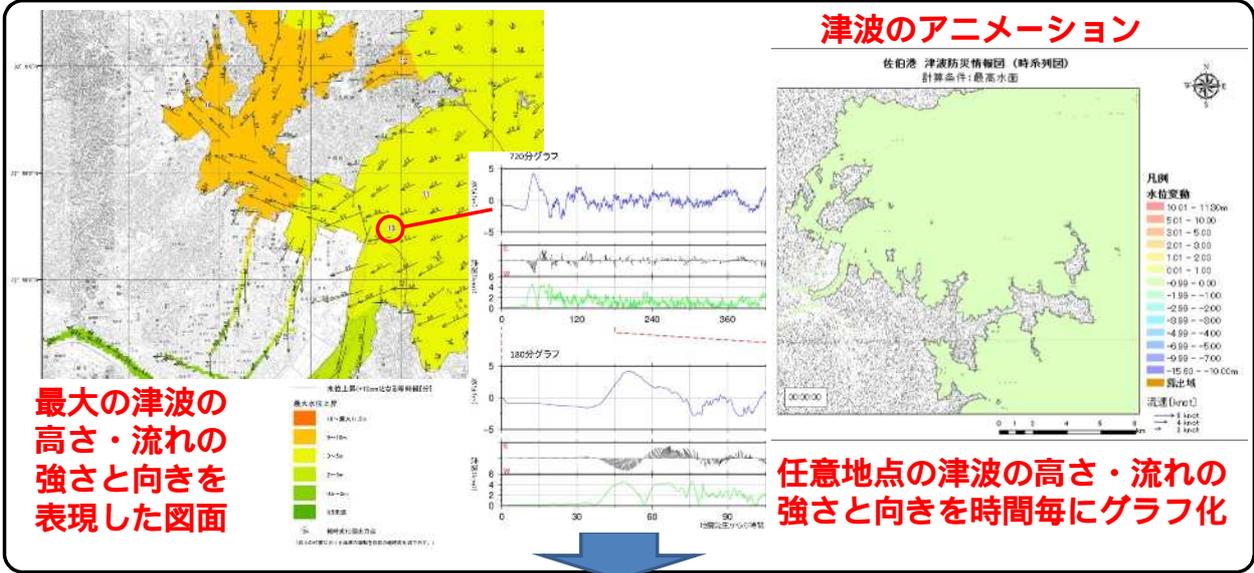
本日以降、随時、受け付けます。

第七管区海上保安本部：093-321-2934(内線 2531) 担当：渡辺

大分海上保安部交通課：097-523-2197 担当：緒方



津波防災情報図とは



海の情報に特化 (海事関係者を対象)

津波防災情報図のwebサイト



本庁のwebサイト

七管区用のwebサイト

津波防災情報図から得られた情報



自分たちが普段利用している港や海域には、津波によってどのような変化が生じる可能性や危険性が潜んでいるのか？



- 津波が来るまでの時間的余裕は？
- 津波の高くなる海域はどこか？
- 津波の流れが速くなる海域はどこか？
- 引潮で露出したり、乗揚げる海域はどこか？
- 安全と思われる海域・水深はどのあたりか？



自船の状況や陸上のハザードマップなどの情報を総合して、地震が発生した際にどのような行動をとるか検討するための材料。

- 航行船舶の着岸、港外退避の判断
- 着岸船舶の係留強化
- 着岸船舶からの退船



説明会の概要



目的

主なユーザーである港湾、海運、漁業、マリンレジャー関係団体及び自治体等の海事関係者が、船舶の津波防災対策の検討資料として利用するために津波防災情報図の活用方法などを説明する。

概要

- 大分地域（佐伯・津久見地域含む）
- ◆ 日時：10月6日（火）1330～1430
 - ◆ 場所：大分県トラック会館 5F会議室
- 門司地域（宇部・苅田地域含む）
- ◆ 日時：10月30日（金）1330～1430
 - ◆ 場所：門司港湾合同庁舎 1F会議室

